

## 5. フォローアップ計画

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会実施段階環境影響評価書（海の森水上競技場）」（平成 28 年 7 月 東京都）では、東京 2020 大会の開催前、開催後を対象に環境影響評価を実施している。一方、東京 2020 大会の開催中における大会の運営等については、現時点では具体的な計画が未定のため、環境影響評価を実施せず、今後の計画の熟度に応じて、別途実施する予定としている。

そのため、本フォローアップ計画書では、東京 2020 大会の開催前、開催後を対象としたフォローアップ計画をとりまとめることとし、東京 2020 大会の開催中の環境影響評価及びフォローアップ計画は、別途実施する予定とする。

### 5.1 大気等

#### (1) 東京 2020 大会の開催前

##### 1) 調査事項

調査事項は、表 5.1-1 に示すとおりである。

表 5.1-1 調査事項（東京 2020 大会の開催前）

区 分	調査事項
予測した事項	・ 工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度
予測条件の状況	・ 気象の状況（風向・風速） ・ 工事用車両の状況（種類、台数、時間帯） ・ 一般車両の状況（種類、台数、時間帯）
ミティゲーションの実施状況	<p>[工事用車両に対するミティゲーション]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設発生土は現場内利用を基本とし、現場内で利用できない場合についても中央防波堤地区内で利用する計画とすることで、周辺市街地への影響に配慮する。</li> <li>・ 工事の実施に当たっては、施工内容を勘案した上で、海上輸送を行う。</li> <li>・ 工事用車両に付着した泥土等が場外に飛散しないよう、出入口付近に洗車施設を設けて必要に応じてタイヤ等の洗浄を行う等、土砂・粉じんの飛散防止に努める。</li> <li>・ 低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する。</li> <li>・ 施工業者に対する指導を徹底し、工事用車両の過積載を防止する。</li> <li>・ 工事用車両が一時的に集中しないよう、可能な限り計画的かつ効率的な運行管理に努める。</li> <li>・ 計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染への影響の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める。</li> <li>・ 工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底するよう運転者への指導を徹底する。</li> <li>・ 工事用車両の走行に伴う周辺市街地への影響を極力軽減するため、中央防波堤地区において同時期に行われる臨港道路中防内 5 号線、中防外 5 号線及び中防外 3 号線の整備、(仮称) 東京港臨港道路南北線建設計画の事業者との協議を行う等の調整を図る。</li> </ul>

##### 2) 調査地域

調査地域は、工事用車両の走行に伴う排出ガスの影響に配慮すべき施設が存在する、計画地周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.1-2 に示すとおりである。

表 5.1-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

	調査事項	工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度
	調査時点	工事用車両の走行台数が最大となる時点(工事着工後15か月目)とする。
調査期間	予測した事項	代表的な1週間とする。
	予測条件の状況	【気象の状況】 「予測した事項」と同一期間とする。
		【工事用車両、一般車両の状況】 「予測した事項」の調査期間内の代表的と考えられる1日とする。
ミティゲーションの実施状況	工事の施行中の適宜とする。	
調査地点	予測した事項	工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。
	予測条件の状況	【気象の状況】 東京管区気象台(風向、風速、雲量及び日射量)とする。
		【工事用車両の状況】 工事用車両の出入口及び工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。 【一般車両の状況】 工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。
ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。	
調査手法	予測した事項	◎ 二酸化窒素 ・No.1~3 簡易測定法(PTIO法) ◎ 浮遊粒子状物質 既存資料並びに工事用車両台数の整理による方法とする。
	予測条件の状況	【気象の状況】 東京管区気象台(風向、風速、雲量及び日射量)の観測値の整理による方法とする。 【工事用車両の状況】 ハンドカウンタによる計測(大型車、小型車の2車種分類)とする。 【一般車両の状況】 ハンドカウンタによる計測(大型車、小型車の2車種分類)とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とする。



凡 例

- 計画地
- 調査地点 (No. 1~3)
- ➔ 工事用車両集中ルート
- ➔ 工事用車両発生ルート



Scale 1:50,000

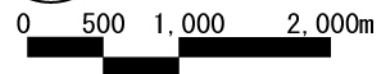


図 5.1-1

工事用車両の走行に伴う大気質、騒音・振動の調査地点

注)工事用車両の走行ルートは今後変更の可能性がある。

## 5.2 水質等

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.2-1 に示すとおりである。

表 5.2-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	・建設機械の稼働(海上)に伴い発生する濁り(SS)の濃度
予測条件の状況	・床掘工で使用する浚渫船の規格及び施工土量
ミティゲーションの実施状況	・定期的な協議会等を開催し、上記の保全措置の実施を工事関係者へ周知徹底する。 ・陸上部からの工事排水は直接海域に放流せず、適切に処理する運用とする。 ・床掘時の濁りの拡散防止のため、汚濁防止枠又は汚濁防止膜を使用する。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺海域とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.2-2 に示すとおりである。

表 5.2-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	建設機械の稼働(海上)に伴い発生する濁り(SS)の濃度	
調査時点	工事期間中で濁り(SS)の発生量が最大となる時点とする。	
調査期間	予測した事項	代表的な1日とする。
	予測条件の状況	「予測した事項」と同一期間とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	濁り(SS)の発生源の近傍とし、2地点(図5.2-1)とする。
	予測条件の状況	濁り(SS)の発生源の近傍とし、2地点(図5.2-1)とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺海域とする。
調査手法	予測した事項	現地調査(水質測定)による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関係資料(建設作業日報等)の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とする。

## (2) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.2-3 に示すとおりである。

表 5.2-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流況</li> <li>・水質（化学的酸素要求量、全窒素及び全リン、溶存酸素量、大腸菌群数）</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設計画の状況</li> <li>・流入負荷量・底質からの負荷量の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門している運用とする。</li> <li>・グラウンドスタンド棟等の施設からの排水等は直接海域に放流せず、適切に処理する運用とする。</li> <li>・水門が締め切られた時は、水質保持のためポンプによる揚排水を行い海水交換を行う。</li> </ul>

## 2) 調査地域

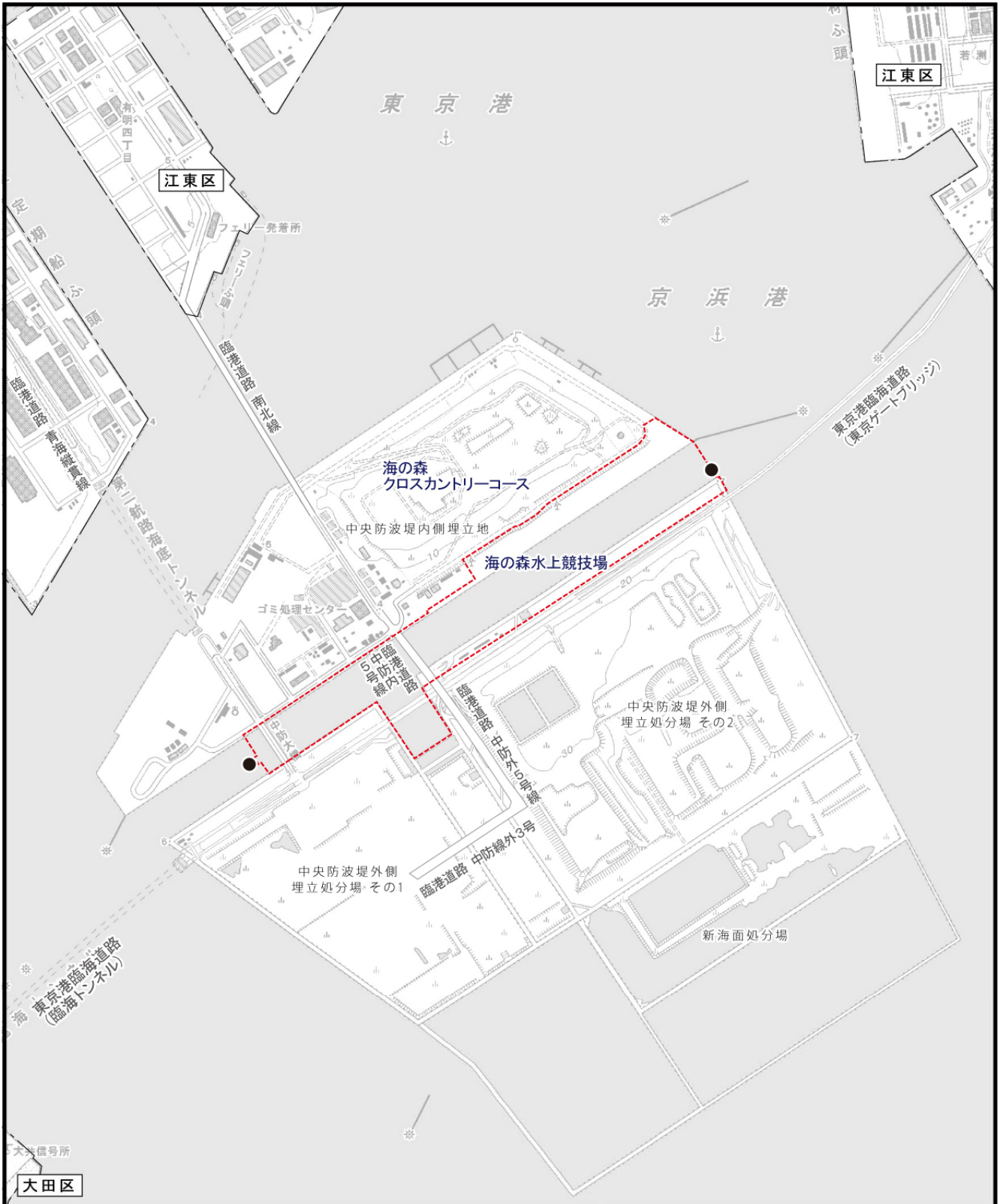
調査地域は、計画地及びその周辺海域とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.2-4 に示すとおりである。


表 5.2-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流況</li> <li>・水質（化学的酸素要求量、全窒素及び全リン、溶存酸素量、大腸菌群数）</li> </ul>	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	東京2020大会開催後の四季とする。
	予測条件の状況	<b>【施設計画の状況】</b> 供用開始後の適宜とする。 <b>【流入負荷量・底質からの負荷量の状況】</b> 東京2020大会開催後の四季とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺海域(図5.2-2及び図5-2-3)とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺海域(図5.2-2)とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺海域とする。
調査手法	予測した事項	現地調査（水質測定、流況調査）による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(底質調査)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。



**凡 例**

- 計画地
- 施設の建設に伴う濁り (SS) の調査地点



Scale 1:25,000


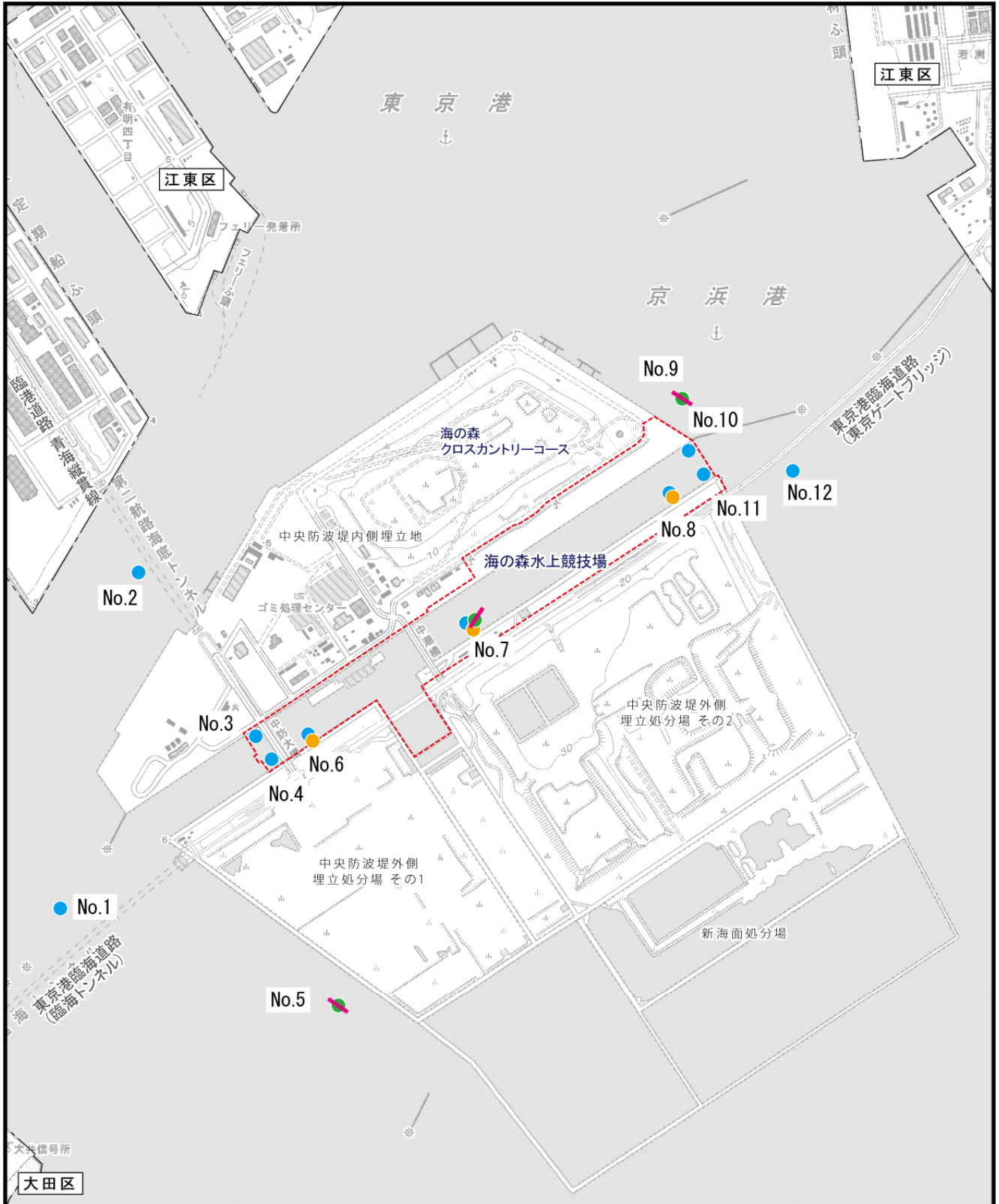
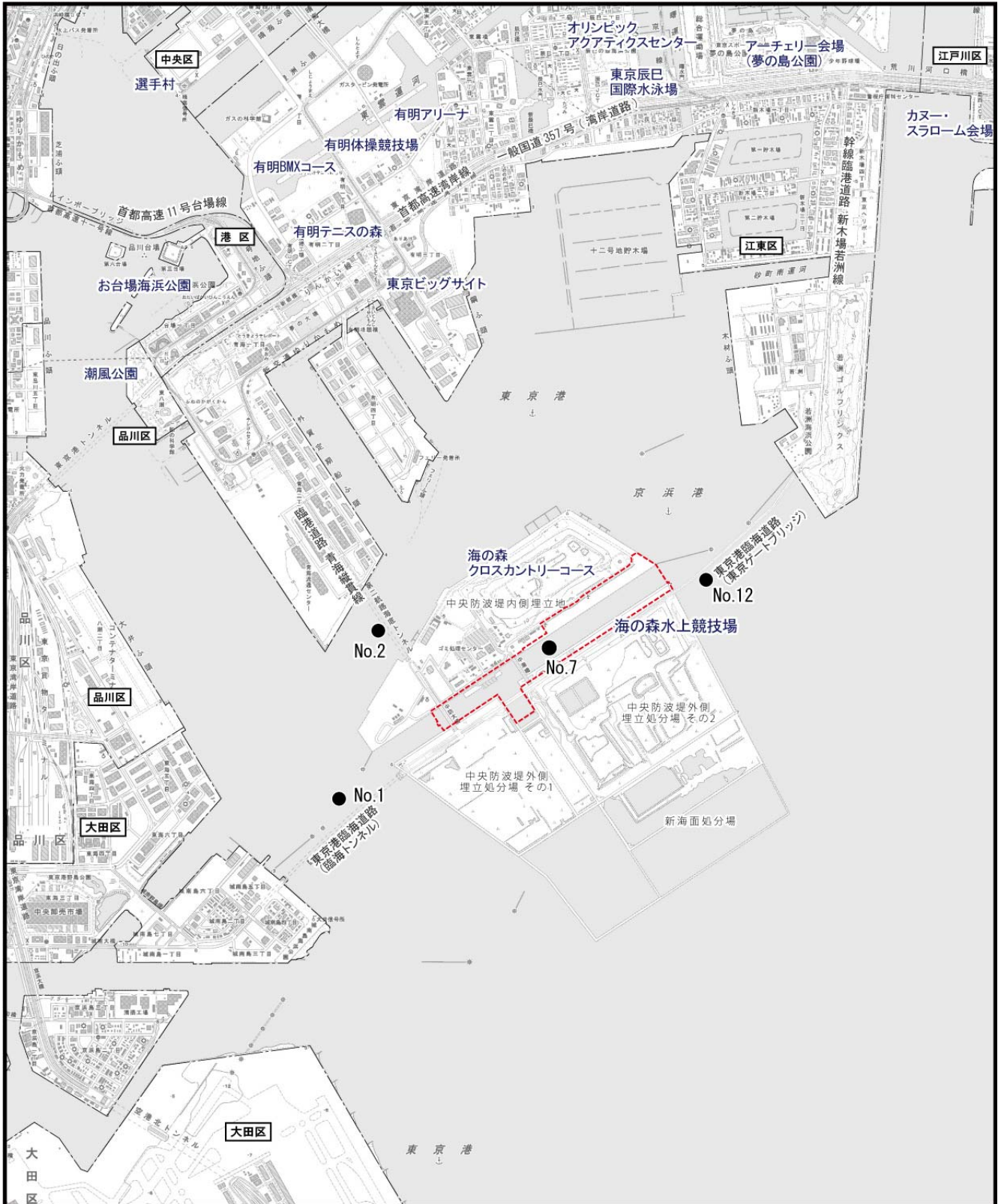


図 5.2-1  
施設の建設に伴う濁り (SS) の  
調査地点



<p><b>凡 例</b></p> <p> <span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 計画地         </p> <p> <span style="color: blue;">●</span> 水質・底質・生態系調査地点(動物植物プランクトン・魚卵稚仔魚・底生生物)         </p> <p> <span style="color: orange;">●</span> 生態系調査地点(潮間帯生物)         </p> <p> <span style="color: green;">●</span> 生態系調査地点(魚介類)         </p> <p> <span style="color: pink;">—</span> 刺網設置地点         </p>	<p>  </p> <p>Scale 1:25,000</p> <p>  </p>
<p>図 5.2-2 現地調査地点(水質・底質・水生生物)</p>	



凡例

- 計画地
- 流況調査地点



Scale 1:50,000

0 500 1,000 2,000m

図 5.2-3 流況調査地点



## 5.3 土壌

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.3-1 に示すとおりである。

表 5.3-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	・土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度
予測条件の状況	・掘削工事の実施状況
ミティゲーションの実施状況	・事業の実施に伴う土地改変にあたっては、土壌汚染対策法第 4 条及び環境確保条例第 117 条に基づく手続きを行い、適切に対応する。 ・工事中に汚染土壌が確認された場合には、土壌汚染対策法及び環境確保条例に則り、汚染物質の種類、汚染土壌の量等を明らかにし、関係機関と調整を行ったうえで適切な飛散・拡散の防止対策をとった汚染拡散防止措置を実施するとともに、その内容をフォローアップ報告書において明らかにする。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.3-2 に示すとおりである。

表 5.3-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	土壌汚染物質(濃度、状況等)の変化の程度	
調査時点	掘削工事を行う時点とする。	
調査期間	予測した事項	掘削工事中の適宜とする。
	予測条件の状況	掘削工事中の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	掘削工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.4 生物の生育・生息基盤

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.4-1 に示すとおりである。

表 5.4-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物・生態系の賦存地の改変の程度</li> <li>・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・植栽基盤（土壌）の状況</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上部緑化として、約11,000m<sup>2</sup>の範囲に地上部緑化を行う計画としている。</li> <li>・地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。</li> <li>・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保し、植栽樹の良好な生育を図ることにより、新たな生物の生育・生息基盤を創出する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.4-2 に示すとおりである。

表 5.4-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	生物・生態系の賦存地の改変の程度 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度	
調査時点	工事の終了後とする。	
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とする。
	予測条件の状況	工事終了後の春季～夏季とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事終了後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## (2) 東京 2020 大会の大会開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.4-3 に示すとおりである。

表 5.3-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物・生態系の賦存地の改変の程度</li> <li>・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・植栽基盤（土壌）の状況</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上部緑化として、約11,000m<sup>2</sup>の範囲に地上部緑化を行う計画としている。</li> <li>・地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。</li> <li>・水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門している運用とする。</li> <li>・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。</li> <li>・水門が締め切られた時は、水質保持のためポンプによる揚排水により海水交換を行う。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.4-4 に示すとおりである。

表 5.4-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	生物・生態系の賦存地の改変の程度 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	供用開始後の春季～夏季とする。
	予測条件の状況	供用開始後の春季～夏季とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.5 生物・生態系

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.5-1 に示すとおりである。

表 5.5-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度</li> <li>・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度</li> <li>・ 水生生物相の変化の内容及びその程度</li> <li>・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度</li> <li>・ 生態系の変化の内容及びその程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存緑地の改変の程度</li> <li>・ 緑化計画</li> <li>・ 水質の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。</li> <li>・ 床掘時の濁りの拡散防止のため、汚濁防止柵又は汚濁防止膜を使用する。</li> <li>・ 十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.5-2 に示すとおりである。

表 5.5-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 水生生物相の変化の内容及びその程度 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 生態系の変化の内容及びその程度	
調査時点	工事の施行中及び終了後とする。	
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とする。
	予測条件の状況	【既存緑地の改変の程度、緑化計画】 工事終了後の春季～夏季とする。 【水質の状況】 工事中の適宜で、濁り（SS）の発生量が最大となる期間内の代表的と考えられる 1 日とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影、水質測定等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## (2) 東京 2020 大会の大会開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.5-3 に示すとおりである。

表 5.5-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度</li> <li>・陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度</li> <li>・水生生物相の変化の内容及びその程度</li> <li>・生育・生息環境の変化の内容及びその程度</li> <li>・生態系の変化の内容及びその程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・緑化計画</li> <li>・水質の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。</li> <li>・水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門している運用とする。</li> <li>・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。</li> <li>・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。</li> <li>・水門が締め切られた時は、水質保持のためポンプによる揚排水により海水交換を行う。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.5-4 に示すとおりである。

表 5.5-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 水生生物相の変化の内容及びその程度 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 生態系の変化の内容及びその程度
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項 【既存緑地の改変の程度、緑化計画】 供用開始後の春季～夏季とする。 【水質の状況】 東京2020大会開催後の四季とする。
	予測条件の状況 【既存緑地の改変の程度、緑化計画】 供用開始後の春季～夏季とする。 【水質の状況】 東京2020大会開催後の四季とする。
	ミティゲーションの実施状況 供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項 計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況 計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況 計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項 任意踏査による植生の状況を整理する方法及び現地調査（水生生物調査）とする。
	予測条件の状況 現地調査(写真撮影、水質測定等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況 現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.6 緑

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.6-1 に示すとおりである。

表 5.6-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度</li> <li>・ 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存緑地の改変の程度</li> <li>・ 緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地上部緑化として、約11,000㎡の範囲に地上部緑化を行う計画としている。</li> <li>・ 地上部緑化として、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（クロガネモチ等）、常緑針葉樹（クロマツ等）の高木を植栽する計画としている。また、防風植栽として常緑広葉樹（タブノキ、クスノキ）、常緑針葉樹（クロマツ）等を植栽する計画としている。</li> <li>・ 既存樹木については伐採予定であるが、樹木調査により樹木の状況確認を行った上で、移植等について検討する。</li> <li>・ 植栽樹種は、計画地北側の「海の森公園(仮称)」に植栽されている樹種を考慮し、植栽地の環境に適した在来種を植栽する計画としている。</li> <li>・ 十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。</li> <li>・ 植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。</li> <li>・ 艇庫棟の屋上の一部には、屋上緑化を行う計画としている。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.6-2 に示すとおりである。

表 5.6-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度	
調査時点	工事の施行中及び終了後とする。	
調査期間	予測した事項	工事終了後の春季～夏季とする。
	予測条件の状況	工事終了後の春季～夏季とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。



## (2) 東京 2020 大会の大会開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.6-3 に示すとおりである。

表 5.6-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度</li> <li>・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上部緑化として、約11,000㎡の範囲に地上部緑化を行う計画としている。</li> <li>・地上部緑化として、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（クロガネモチ等）、常緑針葉樹（クロマツ等）の高木を植栽する計画としている。また、防風植栽として常緑広葉樹（タブノキ、クスノキ）、常緑針葉樹（クロマツ）等を植栽する計画としている。</li> <li>・既存樹木については伐採予定であるが、樹木調査により樹木の状況確認を行った上で、移植等について検討する。</li> <li>・植栽樹種は、計画地北側の「海の森公園(仮称)」に植栽されている樹種を考慮し、植栽地の環境に適した在来種を植栽する計画としている。</li> <li>・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。</li> <li>・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。</li> <li>・艇庫棟の屋上の一部には、屋上緑化を行う計画としている。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.6-4 に示すとおりである。

表 5.6-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	供用開始後の春季～夏季とする。
	予測条件の状況	供用開始後の春季～夏季とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.7 騒音・振動

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.7-1 に示すとおりである。

表 5.7-1 調査事項(東京 2020 大会の大会開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の走行に伴う道路交通騒音</li> <li>・ 工事用車両の走行に伴う道路交通振動</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の状況(種類、台数、時間帯)</li> <li>・ 一般車両の状況(種類、台数、時間帯)</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<p>[工事用車両に対するミティゲーション]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施に当たっては、施工内容を勘案した上で、海上輸送を行う。</li> <li>・ 建設発生土は現場内利用を基本とし、現場内で利用できない場合についても中央防波堤地区内で利用する計画とすることで、周辺市街地への影響に配慮する。</li> <li>・ 資材の搬入に際しては、走行ルートの限定、規制速度を遵守するなど安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める。</li> <li>・ 低公害型の工事用車両を極力採用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する。</li> <li>・ 工事用車両が一時的に集中しないよう、可能な限り計画的かつ効率的な運行管理に努める。</li> <li>・ 計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う騒音・振動に低減に努める。</li> <li>・ 工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底するよう運転者への指導を徹底する。</li> <li>・ 工事用車両の走行に伴う周辺市街地への影響を極力軽減するため、中央防波堤地区において同時期に行われる臨港道路中防内 5 号線、中防外 5 号線及び中防外 3 号線の整備、(仮称)東京港臨港道路南北線建設計画の事業者との協議を行う等の調整を図る。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は工事用車両の走行に伴う騒音・振動の影響に配慮すべき施設が存在する、計画地周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.7-2 に示すとおりである。

表 5.7-2 調査手法(東京 2020 大会の大会開催前)

調査事項		工事用車両の走行に伴う道路交通騒音	工事用車両の走行に伴う道路交通振動
調査時点		工事用車両の走行台数が最大となる時点(工事着工後15か月目)とする。	
調査期間	予測した事項	代表的な1日の内、工事用車両の走行時間及びその前後1時間を含む時間帯とする。	
	予測条件の状況	【工事用車両、一般車両の状況】 「予測した事項」と同時期とする。	
	ミティゲーションの実施状況	工事の施行中の適宜とする。	
調査地点	予測した事項	工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1(p.31参照))に示す地点No.1~3)とする。	
	予測条件の状況	【工事用車両の状況】 工事用車両の出入口及び工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。 【一般車両の状況】 工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。	
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。	
調査手法	予測した事項	「騒音に係る環境基準について」(平成10年9月環境庁告示第64号)に定める方法(JIS Z8731)に準拠し、騒音レベル(等価騒音レベル： $L_{Aeq}$ )を測定する。	「振動規制法施行規則」(昭和51年総務省令第58号)に定める測定方法(JIS Z8735)に準拠し、振動レベルの80%レンジの上端値( $L_{10}$ )を測定する。
	予測条件の状況	【工事用車両、一般車両の状況】 ハンドカウンタによる計測(大型車、小型車の2車種分類)とする。	
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とする。	

## 5.8 景観

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.8-1 に示すとおりである。

表 5.8-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度</li> <li>・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度</li> <li>・ 緑視率の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画建築物の状況(配置、形状、高さ等)</li> <li>・ 緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光・緑・水などの自然の要素をモチーフとして、周辺の自然環境に馴染む、外観形状を基本とする。</li> <li>・ 中央防波堤埋立地の主役である海の森公園(仮称)等周辺環境との一体性を重視し、公園の豊かな緑や海の水が感じられる外観とする。</li> <li>・ 周辺の地形に開かれた緩やかな形状とする。</li> <li>・ 海の森との一体感を出すために周回道路沿いに緑の帯を作る。</li> <li>・ 艇庫棟においては、一部屋上緑化を施し、中央防波堤内側から外側に緑の軸をつなぐ。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.8-2 に示すとおりである。

表 5.8-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項		主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	緑視率の変化の程度
調査時点		施設完成後とする。		
調査期間	予測した事項	施設完成後とする。		
	予測条件の状況	施設完成後とする。		
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後とする。		
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。	予測地点と同様の 4 地点(図 5.8-1 に示す地点 No. 1~4)とする。	
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。		
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。		
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影)及び評価書の予測結果と比較する方法とする。		
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影)及び関係資料の整理による方法とする。		
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影)及び関係資料の整理による方法とする。		

## (2) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.8-3 に示すとおりである。

表 5.8-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度</li> <li>・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度</li> <li>・ 緑視率の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画建築物の状況(配置、形状、高さ等)</li> <li>・ 緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光・緑・水などの自然の要素をモチーフとして、周辺の自然環境に馴染む、外観形状を基本とする。</li> <li>・ 中央防波堤埋立地の主役である海の森公園(仮称)等周辺環境との一体性を重視し、公園の豊かな緑や海の水が感じられる外観とする。</li> <li>・ 周辺の地形に開かれた緩やかな形状とする。</li> <li>・ 海の森との一体感を出すために周回道路沿いに緑の帯を作る。</li> <li>・ 艇庫棟においては、一部屋上緑化を施し、中央防波堤内側から外側に緑の軸をつなぐ。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.8-4 に示すとおりである。

表 5.8-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項		主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	緑視率の変化の程度
調査時点		東京2020大会開催後とする。		
調査期間	予測した事項	東京 2020 大会開催後とする。		
	予測条件の状況	東京 2020 大会開催後とする。		
	ミティゲーションの実施状況	東京 2020 大会開催後とする。		
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。	予測地点と同様の 4 地点(図5.8-1に示す地点No. 1~4)とする。	
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。		
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。		
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影)及び評価書の予測結果と比較する方法とする。		
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影)及び関係資料の整理による方法とする。		
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影)及び関係資料の整理による方法とする。		



凡例

計画地

● 景観(眺望景観)調査地点 (No.1~4)

➤ 写真撮影方向



Scale 1:50,000

0 500 1,000 2,000m

図 5.8-1  
景観調査地点  
(代表的な眺望点及び眺望の状況)

## 5.9 自然との触れ合い活動の場

## (1) 東京 2020 大会の大会開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.4-1 に示すとおりである。

表 5.4-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事用車両の走行の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底し、大気汚染、騒音・振動の低減に努める。</li> <li>・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染、騒音・振動の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める。</li> <li>・工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底するよう運転者への指導を徹底する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.4-2 に示すとおりである。

表 5.4-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度</li> </ul>	
調査時点	工事の施工中とする。	
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とする。
	予測条件の状況	工事中の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## (2) 東京 2020 大会の大会開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.4-3 に示すとおりである。

表 5.4-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設配置計画</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地の北側には「海の森公園（仮称）」と一体感のある地上部緑化を行い、計画地南側には常緑樹による防風植栽を設置する計画としている。</li> <li>・計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、現中潮橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置することを、都として調整する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.4-4 に示すとおりである。

表 5.4-4 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度</li> </ul>	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	供用開始後の適宜とする。
	予測条件の状況	供用開始後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。



## 5.10 歩行者空間の快適性

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.10-1 に示すとおりである。

表 5.10-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の程度</li> <li>・歩行者が感じる快適性の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象の状況</li> <li>・周辺土地利用条件</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都として中潮橋北側交差点以东には、アクセス経路沿いに街路樹を整備する計画である。</li> <li>・都としてアクセス経路沿いの既存街路樹について可能な限りの保全を図る。</li> <li>・都としてその他の都道の街路樹や公園の樹木を適切に維持・管理することにより、夏の強い日差しを遮る木陰を確保するとともに、まとまった緑による気温上昇の抑制効果を高めていく。</li> <li>・計画地内における遮熱性舗装の敷設や道路沿いに緑の帯を形成する等歩行者空間の暑さ対策について可能な限りの配慮を行う計画である。</li> </ul>

## 2) 調査地域

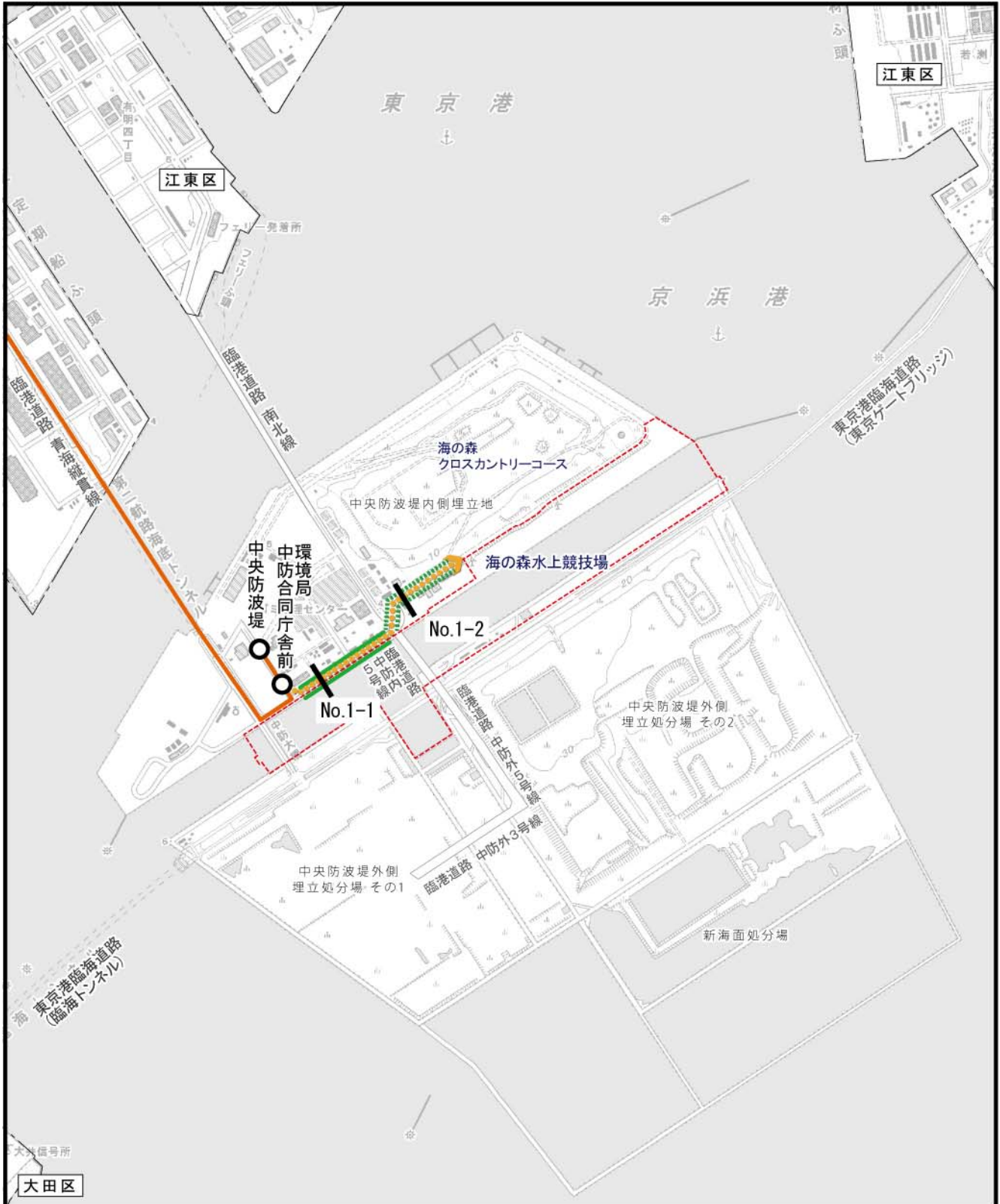
調査地域は、計画地及びその周辺とする。



## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.10-2 に示すとおりである。

表 5.10-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	緑の程度	歩行者が感じる快適性の程度
調査時点	東京2020大会の開催後とする。	
調査地点	予測した事項	予測地点と同様の公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路上における2地点(図5.10-1に示すNo.1-1~1-2)とする。
	予測条件の状況	予測地点と同様の公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路上における2地点(図5.10-1に示すNo.1-1~1-2)とする。
	ミティゲーションの実施状況	予測地点と同様の公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路上における2地点(図5.10-1に示すNo.1-1~1-2)とする。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、暑さ指数(WBGT)の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。



<p><b>凡例</b></p> <p> <span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 計画地  <span style="border-bottom: 2px solid orange; width: 20px; display: inline-block;"></span> バス路線 波01  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 10px; height: 10px; display: inline-block;"></span> バス停                 </p>		<p> <span style="color: orange;">←</span> 歩行者動線  <span style="border-bottom: 2px solid green; width: 20px; display: inline-block;"></span> 街路樹  <span style="border-bottom: 2px dashed green; width: 20px; display: inline-block;"></span> 街路樹(整備予定)  <span style="border-bottom: 2px solid black; width: 20px; display: inline-block;"></span> 予測断面 (No.1)                 </p>	
		<p>  Scale 1:25,000   </p>	
<p>図 5.10-1 歩行者空間の快適性の調査地点</p>			

## 5.11 水利用

(1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.11-1 に示すとおりである。

表 5.11-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・水の効率的利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・雨水利用設備の状況
ミティゲーションの実施状況	・グラウンドスタンド棟の屋根に降る雨水を集水し、雨水利用のための貯留槽へ貯留後、トイレ洗浄水に使用する計画とする。 ・節水型トイレ、手洗いセンサーを設置する。 ・利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.11-2 に示すとおりである。

表 5.11-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

	調査事項	水の効率的利用への取組・貢献の程度
	調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項	供用開始後の適宜とする。
	予測条件の状況	供用開始後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.12 廃棄物

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.12-1 に示すとおりである。

表 5.12-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	・施設の建設に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
予測条件の状況	・掘削工事の実施状況 ・杭工事の実施状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採樹木については、中間処理施設へ搬出し、チップ化によるマテリアルリサイクルや、ペレット等の木質バイオマス燃料によるサーマルリサイクルとしての利用を検討する。</li> <li>・掘削工事等に伴い発生する建設発生土は、現場内利用を基本とし、現場内で利用できない量については、中央防波堤地区内で利用する計画である。</li> <li>・基礎工事等に伴い発生する建設泥土については、脱水等を行って減量化に努め、場外へ搬出する場合には、再資源化施設に搬出する。</li> <li>・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づく特定建設資材廃棄物については現場内で分別解体を行い、可能な限り現場内利用に努め、現場で利用できないものは現場外で再資源化を行う。</li> <li>・建設廃棄物の分別を徹底し、種類に応じて保管、排出、再利用促進及び不要材の減量等を図る。再利用できないものは、運搬・処分の許可を得た業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する。</li> <li>・コンクリート型枠材については、非木材系型枠の採用や部材のプレハブ化等により木材系型枠材の使用量を低減する。</li> <li>・既存樹木については伐採予定であるが、樹木調査により樹木の状況確認を行った上で、移植等について検討する。</li> <li>・建設廃棄物の発生量を低減するような施工計画を検討し、施工業者に遵守させる。</li> <li>・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。</li> <li>・施設整備に当たっては、東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針も踏まえ、再生骨材コンクリート等のエコマテリアルを積極的に使用する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.12-2 に示すとおりである。

表 5.12-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

	調査事項	施設の建設に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
	調査時点	工事の施行中とする。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とする。
	予測条件の状況	工事中の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## (2) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.12-3 に示すとおりである。

表 5.12-3 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・施設等の持続的稼働に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
予測条件の状況	・施設の利用者数
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用・再資源化が可能な品目（びん、缶、ペットボトル）については、資源として分別回収を行う計画とする。</li> <li>・東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針も踏まえ、事業系廃棄物の分別回収等、廃棄物の循環利用を進める。</li> <li>・イベント等の開催時において発生する廃棄物については、各事業者が「事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理」を行う必要があるため、イベント等の開催事業者への十分な周知を行い、開催事業者が処理・処分を行うように調整する。</li> <li>・再利用・再資源化率に関しては、類似施設におけるリサイクル率以上の目標設定について、検討する。</li> <li>・産業廃棄物が発生した場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び東京都廃棄物条例に基づき、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.12-4 に示すとおりである。

表 5.12-4 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	施設等の持続的稼働に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	供用開始後の適宜とする。
	予測条件の状況	供用開始後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.13 エコマテリアル

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.13-1 に示すとおりである。

表 5.13-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品調達方針
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成27年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」等に基づき、環境物品等の調達を行う。</li> <li>・「東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針」（平成27年 3月 東京都）も踏まえ、再生骨材コンクリート等のエコマテリアルを積極的に使用する。</li> <li>・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、積極的に適用品目を利用する計画である。</li> <li>・資材の搬入、副産物の搬出にあたっては、あらかじめ再生資源利用計画書および再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。</li> <li>・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップ調査で確認する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.13-2 に示すとおりである。

表 5.13-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

	調査事項	エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
	調査時点	工事の施行中とする。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とする。
	予測条件の状況	工事中の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とする。

## 5.14 温室効果ガス

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.14-1 に示すとおりである。

表 5.14-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・温室効果ガスの排出量及びその削減の程度
予測条件の状況	・省エネルギー設備の状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率機器の採用による省エネ対策を図る。</li> <li>・照明器具は、諸室の用途と適正を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行い、省エネルギー・高効率タイプ（LED形、又は高周波点灯形照明器具）を採用する。</li> <li>・事務室等から一括管理できるように、館内照明の監視制御を集中リモコンで操作する。</li> <li>・点滅区分を適正にして、こまめな消灯ができるようにする。</li> <li>・トイレ等に関しては人感センサー等を有効に利用することにより消費電力の低減に努める。</li> <li>・南面・西面の外装デザインについては、真夏の日射遮蔽に配慮し、大庇により快適性を確保する。</li> <li>・北側の外装デザインについては、安定的な自然光を取り入れる開口に配慮する。</li> <li>・艇庫棟においては、一部屋上緑化を行う。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.14-2 に示すとおりである。

表 5.14-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

	調査事項	温室効果ガスの排出量及びその削減の程度
	調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項	供用開始後の適宜とする。
	予測条件の状況	供用開始後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理又は電気使用量の整理による方法とする。
	予測条件の状況	関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とする。



## 5.15 エネルギー

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.15-1 に示すとおりである。

表 5.15-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・エネルギーの使用量及びその削減の程度
予測条件の状況	・省エネルギー設備の状況
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率機器の採用による省エネ対策を図る。</li> <li>・照明器具は、諸室の用途と適正を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行い、省エネルギー・高効率タイプ(LED形、又は高周波点灯形照明器具)を採用する。</li> <li>・事務室等から一括管理できるように、館内照明の監視制御を集中リモコンで操作する。</li> <li>・点滅区分を適正にして、こまめな消灯ができるようにする。</li> <li>・トイレ等に関しては人感センサー等を有効に利用することにより消費電力の低減に努める。</li> <li>・南面・西面の外装デザインについては、真夏の日射遮蔽に配慮し、大庇により快適性を確保する。</li> <li>・北側の外装デザインについては、安定的な自然光を取り入れる開口に配慮する。</li> <li>・艇庫棟においては、一部屋上緑化を行う。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.15-2 に示すとおりである。

表 5.15-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	エネルギーの使用量及びその削減の程度	
調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。	
調査期間	予測した事項	供用開始後の適宜とする。
	予測条件の状況	供用開始後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	供用開始後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理又は電気使用量の整理による方法とする。
	予測条件の状況	関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とする。

## 5.16 土地利用

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.16-1 に示すとおりである。

表 5.16-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	・未利用地の解消の有無及びその程度
予測条件の状況	・土地利用の状況
ミティゲーションの実施状況	・多面的な水利用を図りながら、隣接する海の森と連携した水と緑のネットワーク拠点とする。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.16-2 に示すとおりである。

表 5.16-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

調査事項		未利用地の解消の有無及びその程度
調査時点		施設完成後とする。
調査期間	予測した事項	施設完成後の適宜とする。
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とする。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.17 安全

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.17-1 に示すとおりである。

表 5.17-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物施設等からの安全性の確保の程度</li> <li>・移動の安全のためのバリアフリー化の程度</li> <li>・電力供給の安定度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地周辺の危険物施設等の状況</li> <li>・施設内及び最寄りの鉄道駅から会場までの歩行者経路におけるバリアフリー施設の状況</li> <li>・電力供給施設の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例（建築物バリアフリー条例）及び東京都福祉のまちづくり条例に適合した施設計画とする。</li> <li>・都としては「東京都長期ビジョン」において、2020年までに「2020年大会開催時における観光地や競技会場周辺等の道路のバリアフリー化」が完了する計画である。</li> <li>・「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」において順次設定されている基準等を踏まえた整備等を行う。</li> <li>・エリアごとに、発電機電源バックアップ方式もしくは予備電源バックアップ方式を採用する。</li> <li>・地中管路に使用する管路は、地震及び不等沈下によるせん断への対策を考慮し、可とう性のある「FEP」管（波打硬質合成樹脂管）とする。</li> <li>・受電盤への引込み及び送出し部分には、必要に応じ予備管路を考慮する。</li> <li>・地中線引込みの場合は、原則として、ピラーボックス用ハンドホール 及び地絡継電装置付き高圧交流負荷開閉器 を設ける。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.17-2 に示すとおりである。

表 5.17-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項		危険物施設等からの安全性の確保の程度	移動の安全のためのバリアフリー化の程度	電力供給の安定度
調査時点		施設完成後とする。		施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項	施設完成後の適宜とする。		
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とする。		
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とする。		
調査地点	予測した事項	計画地周辺とする。	計画地及び公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路(図5.17-1)とする。	計画地とする。
	予測条件の状況	計画地周辺とする。	計画地及び公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路(図5.17-1)とする。	計画地とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地周辺とする。	計画地及び公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路(図5.17-1)とする。	計画地とする。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理とする。	現地調査(写真撮影)及び関連資料の整理とする。	関連資料の整理とする。
	予測条件の状況	関連資料の整理とする。	現地調査(写真撮影)及び関連資料の整理とする。	関連資料の整理とする。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理とする。	現地調査(写真撮影)及び関連資料の整理とする。	関連資料の整理とする。



<p><b>凡 例</b></p> <p>----- 計画地</p> <p>バス路線  <span style="color: orange;">——</span> 波 01</p> <p>○ バス停</p> <p>←..... 歩行者動線          (移動の安全のためのバリアフリー化の程度に係る調査範囲)</p>	<p>Scale 1:25,000</p> <p>0 250 500 1,000m</p>
<p>図 5.17-1 安全の調査範囲</p>	

## 5.18 消防・防災

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.18-1 に示すとおりである。

表 5.18-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の程度</li> <li>・津波対策の程度</li> <li>・防火性の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震設備の状況</li> <li>・津波対策の状況</li> <li>・防災設備の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法、東京都建築安全条例、消防法及び東京都火災予防条例に準拠する耐震基準・防火基準を満たした計画とする。</li> <li>・災害時の避難経路は、非常時でも迷わず避難できるよう計画する。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.18-2 に示すとおりである。

表 5.18-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	耐震性の程度 津波対策の程度 防火性の程度	
調査時点	施設完成後とする。	
調査期間	予測した事項	施設完成後の適宜とする。
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺地域とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺地域とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺地域とする。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.19 交通渋滞

## (1) 東京 2020 大会の開催前

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.19-1 に示すとおりである。

表 5.19-1 調査事項(東京 2020 大会の開催前)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の走行に伴う交通渋滞の発生又は解消等、交通量及び交通流の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の走行の状況</li> <li>・ 一般車両の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事用車両の走行ルートは、複数のルートに分散させる。</li> <li>・ 工事の実施に当たっては、必要に応じて海上輸送を行う。</li> <li>・ 建設発生土は現場内利用を基本とし、現場内で利用できない場合についても中央防波堤内で利用する計画とすることで、周辺市街地への影響に配慮する。</li> <li>・ 工事用車両の集中稼働を行わないよう、工事工程の平準化に努める計画である。</li> <li>・ 朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。</li> <li>・ 工事用車両出入口に交通整理員を配置し、工事用車両の出入りに伴う一般交通流への影響を低減する。</li> <li>・ 工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。</li> <li>・ 工事用車両の走行に伴う周辺市街地への影響を極力軽減するため、中央防波堤地区において同時期に行われる臨港道路中防内 5 号線、中防外 5 号線及び中防外 3 号線の整備、(仮称) 東京港臨港道路南北線建設計画の事業者との協議を行う等の調整を図る。</li> </ul>

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.19-2 に示すとおりである。

表 5.19-2 調査手法(東京 2020 大会の開催前)

	調査事項	工事用車両の走行に伴う交通渋滞の発生又は解消等、交通量及び交通流の変化の程度
	調査時点	工事用車両の走行台数が最大となる時点(工事着工後15か月目)とする。
調査期間	予測した事項	代表的な1日の内、工事用車両の走行時間及びその前後1時間を含む時間帯とする。
	予測条件の状況	【工事用車両、一般車両の状況】 「予測した事項」と同時期とする。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とする。
調査地点	予測した事項	工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1(p.31参照)に示す地点No.1~3)とする。
	予測条件の状況	【工事用車両の状況】 工事用車両の出入口及び工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。 【一般車両の状況】 工事用車両走行ルート上の3地点(図5.1-1に示す地点No.1~3)とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	ハンドカウンタによる計測(大型車、小型車の2車種分類)
	予測条件の状況	ハンドカウンタによる計測(大型車、小型車の2車種分類)
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。



## 5.20 公共交通へのアクセシビリティ

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.20-1 に示すとおりである。

表 5.20-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度
予測条件の状況	・関連車両の走行の状況 ・アクセス経路における歩車道線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・都として、公共交通機関からの計画地までの歩行者動線を適切に確保する。 ・計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、現中潮橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置することを、都として調整する。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.20-2 に示すとおりである。

表 5.20-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

	調査事項	関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度
	調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項	施設完成後の適宜とする。
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.21 交通安全

## (1) 東京 2020 大会の開催後

## 1) 調査事項

調査事項は、表 5.21-1 に示すとおりである。

表 5.21-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・アクセス経路における歩車道線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度
予測条件の状況	・アクセス経路における歩車道線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・イベント時には、施設の車両出入口に、必要に応じて交通整備員の配置や看板の設置等を検討し、施設来訪者等一般歩行者の交通安全に配慮する。 ・計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、現中潮橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置することを、都として調整する。

## 2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

## 3) 調査手法

調査手法は、表 5.21-2 に示すとおりである。

表 5.21-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

	調査事項	アクセス経路における歩車道線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度
	調査時点	施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とする。
調査期間	予測した事項	施設完成後の適宜とする。
	予測条件の状況	施設完成後の適宜とする。
	ミティゲーションの実施状況	施設完成後の適宜とする。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とする。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とする。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とする。

## 5.22 その他の項目に係るミティゲーションの実施状況

その他の項目に対してのミティゲーションについて以下に記載する。

### (1) 史跡・文化財

計画地は中央防波堤内側埋立地及び中央防波堤外側埋立地内に位置しており、計画地内に史跡・文化財は存在しない。また、計画地は、昭和 50 年頃から埋立を行っている埋立地に位置しており、埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

なお、工事の実施に伴い新たに史跡・文化財が確認された場合には、フォローアップ報告書において明らかにする。

## 5.23 フォローアップ報告書の提出時期

フォローアップ報告書の提出時期及び内容は、表 5.23-1(1)、(2)に示すとおりである。



表 5.23-1(1) フォローアップの工程及びフォローアップ報告書の提出時期（東京 2020 大会の開催前）

年・月	平成28年度									平成29年度									平成30年度									平成31年度									平成32年度													
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
工事工程	港湾構造物		北側護岸/嵩上げ・撤去	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
			西側締切堤	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
	港湾付帯施設		東側締切堤	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
			東側護岸改良	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
	水門		ポンツーン、消波装置等	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
			西側水門場	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																														
	東側水門場	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																																
ポンプ設備		西側・東側	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																															
建築施設		観客席・艇庫・その他	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																															
外構		外構	[Bar chart showing construction progress from July 2016 to March 2020]																																															
フォローアップ調査工程	大気等	大会の開催前	工事用車両の走行 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	水質等	大会の開催前	水質の変化 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	土壌	大会の開催前	土壌汚染物質の変化 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	生物の生育・ 生息基盤	大会の開催前	賦存地の改変	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			生育・生息基盤の創出の有無等 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	生物・生態系	大会の開催前	陸上植物の変化の内容等	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			陸上動物の変化の内容等	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			水生生物相の変化の内容等	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			生育・生息環境の変化の内容等	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			生態系の変化の内容等 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	緑	大会の開催前	植栽内容の変化 緑の量の変化 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	騒音・振動	大会の開催前	工事用車両の走行 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	景観	大会の開催前	地域景観の変化	[Timeline with investigation points and reports]																																														
			眺望の変化 緑視率の変化 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
	自然との触れ合い 活動の場	大会の開催前	阻害又は促進 利用経路に与える影響 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																														
廃棄物	大会の開催前	廃棄物の排出量及び再利用量等 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																															
エコマテリアル	大会の開催前	エコマテリアルの利用状況等 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																															
土地利用	大会の開催前	未利用地の解消の有無等 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																															
交通渋滞	大会の開催前	交通量及び交通流の変化 ミティゲーション	[Timeline with investigation points and reports]																																															

凡例 ○ : 調査時点 ● : 継続調査 → : 報告



表 5. 23-1(2) フォローアップの工程及びフォローアップ報告書の提出時期（東京 2020 大会の開催中及び開催後）

年・月	平成31年度			平成32年度												平成33年度												平成34年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京2020大会オリンピック競技大会																																							
東京2020大会パラリンピック競技大会																																							
仮設工作物・宿泊施設内装工事																																							
フォローアップ調査工程	大気等	大会の開催中	関連車両の走行 ミティゲーション																																				
	水質等	大会の開催後	水質の変化 ミティゲーション																																				
	生物の生育・ 生息基盤	大会の開催後	既存地の改変 生育・生息基盤の創出の有無等 ミティゲーション																																				
	生物・生態系	大会の開催後	陸上植物の変化の内容等 陸上動物の変化の内容等 水生生物相の変化の内容等 生育・生息環境の変化の内容等 生態系の変化の内容等 ミティゲーション																																				
	緑	大会の開催後	植栽内容の変化 緑の量の変化 ミティゲーション																																				
	騒音・振動	大会の開催中	関連車両の走行 ミティゲーション																																				
	景観	大会の開催後	地域景観の変化 眺望の変化 緑視率の変化 ミティゲーション																																				
	自然との触れ合い 活動の場	大会の開催中	阻害又は促進 利用経路に与える影響 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	消滅の有無又は改変 阻害又は促進 利用経路に与える影響 ミティゲーション																																				
	歩行者空間の 快適性	大会の開催中	緑の程度 歩行者が感じる快適性の程度 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	緑の程度 歩行者が感じる快適性の程度 ミティゲーション																																				
	水利用	大会の開催中	水の効率的利用への取組・貢献 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	水の効率的利用への取組・貢献 ミティゲーション																																				
	廃棄物	大会の開催中	廃棄物の排出量及び再利用量等 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	廃棄物の排出量及び再利用量等 ミティゲーション																																				
	温室効果ガス	大会の開催中	温室効果ガスの排出量及びその削減 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	温室効果ガスの排出量及びその削減 ミティゲーション																																				
	エネルギー	大会の開催中	エネルギーの使用量及びその削減 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	エネルギーの使用量及びその削減 ミティゲーション																																				
	安全	大会の開催中	安全性の確保 バリアフリー化 電力供給の安定度 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	安全性の確保 バリアフリー化 電力供給の安定度 ミティゲーション																																				
	消防・防災	大会の開催中	耐震性 津波対策 防火性 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	耐震性 津波対策 防火性 ミティゲーション																																				
	交通渋滞	大会の開催中	交通量及び交通流の変化 ミティゲーション																																				
	公共交通の アクセシビリティ	大会の開催中	アクセシビリティの変化 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	アクセシビリティの変化 ミティゲーション																																				
	交通安全	大会の開催中	交通安全の変化 ミティゲーション																																				
		大会の開催後	交通安全の変化 ミティゲーション																																				

報告書提出時期 大会開催後報告書

凡例 ○：調査時点 ●：継続調査 →：報告

